

追悼・石牟礼道子

# 石牟礼道子と出逢う

—part 2

2018年

7月13日(金)

午後5時半(5時開場)

8時半頃終了予定

座・高円寺2

東京都杉並区高円寺北2-1-2

JR中央線「高円寺」駅下車 徒歩5分

入場料 3000円

定員256名／全席自由／申込み先着順

●申込み・問合せ／

TEL 03-5272-0301

【主催】藤原書店

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町523

電話 03-5272-0301

FAX 03-5272-0450

E-mail info@fujiwara-shoten.co.jp

2月に急逝した石牟礼道子さん。  
われわれは、今、石牟礼道子から  
何を学び、何を受け継げばいいのか!?

◆第1部

【お別れの言葉】

**大石芳野** (写真家 石牟礼道子の友人)

**笠井賢一** (演出家 新作品「不知火」を演出)

**坂本直充** (詩人 処女詩集『光り海』に石牟礼道子が推薦文)

**沢井一恵** (作曲家 石牟礼道子の友人)

**鈴木一策** (哲学者 『完本 春の城』解説)

**ブルース・アレソ** (清泉女子大教授 『天湖』の英訳)

【講演】 **赤坂真理** (作家)



◆第2部

【朗読】 **坪井美香** (俳優)

石牟礼道子「迦陵頻伽の声」(石牟礼道子+米良美一「母」より)

【歌と語り】 **米良美一** (歌手)

『春の城』より / 「黒髪」(「母」より) 作曲・佐藤岳晶

ピアノ・栗原正和 構成・笠井賢一



【語りと音楽と映像の世界】

〈語り〉 **佐々木愛** (劇団文化座)

**阿部敦子** (劇団文化座)

〈音楽・演出〉 **金大偉** (音楽家、映像作家)

〈尺八〉 **原郷界山** (都山流大師範)



総合司会 / 伊東恵都子

●石牟礼道子 Ishimure Michiko

1927年、熊本県天草に生れ、水俣で育つ。詩人。作家。1969年に公刊された『苦海浄土 わが水俣病』は、水俣病事件を描いた初の作品として注目され、第1回大宅壮一ノンフィクション賞となるが、辞退。1973年マグサイサイ賞、1993年『十六夜橋』で紫式部文学賞、2001年度朝日賞を受賞。『はにかみの国——石牟礼道子全詩集』で2002年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2014年、後藤新平賞受賞。2002年から04年にかけて、初の新作「不知火」が、東京・熊本・水俣で上演され、高い評価を受ける。石牟礼道子の世界を描いた映像作品として、『海霊の宮』(2006年)、『花の億土へ』(2013年)がある。『石牟礼道子全集 不知火』(全17巻・別巻1)は藤原書店から2004年4月より2014年5月にかけて刊行。この間に『石牟礼道子・詩文コレクション』(全7巻、2009-10年)や『最後の人・詩人高群逸枝』『葎の渚——石牟礼道子自伝』『不知火おとめ——若き日の作品集1945-1947』『石牟礼道子全句集 泣きなが原』(俳句四季大賞)などを刊行。2016年8月、名著『苦海浄土』三部作を一冊にした大著『苦海浄土 全三部』を刊行、話題に。2017年2月に縁の方々への悼詞集『無常の使い』を、7月に、天草島原事件を描いた畢生の大作『完本 春の城』(以上、藤原書店)を刊行。2018年2月10日没。

プロデューサー / 藤原良雄 構成協力 / 能澤壽彦 映像構成 / 山本桃子 音響 / 桜井冬夫 照明 / 松村剛 撮影 / 菅井康博  
主催・企画 / 藤原書店 制作協力 / TAI Project、劇団文化座

予約・問合せ / 03-5272-0301 (藤原書店) <http://www.fujiwara-shoten.co.jp/>

藤原書店

FAX 03-5272-0450

info@fujiwara-shoten.co.jp

■ 7月13日(金) 午後5時半 ( ) 名 申し込みます。

フリガナ

■ お名前

■ ご住所 〒

■ お電話番号

■ FAX番号